

いちゃいばネットワーク通信

今回は、1人のアスリート「ランス・アームストロング選手」について紹介します。

彼は、アメリカ合衆国テキサス州プラノー出身のプロロードレース選手で、ツール・ド・フランス※ という世界一過酷な競技ともいわれるロードレースに、1999年～2005年にかけて、前人未到の7連続総合優勝を達成した選手。



※ ツール・ド・フランス

毎年7月にフランスで開催されるレースで、コースはフランスやフランス周辺国をステージとしたコースもあり、走行距離にすると約3,500km前後。アルプス山脈などを越えるコースもあり、高低差2,000m以上。その過酷なレースが3週間以上かけて行われる。

7連続総合優勝を遂げるまでの間、辛い道のりがあった・・・

1996年、彼は精巣腫瘍(ガン)に侵された。病気の発見が遅く、早期治療をしなかった為に、ガン細胞は彼の肺と脳にも転移。生存確率は20%以下とも言われた。

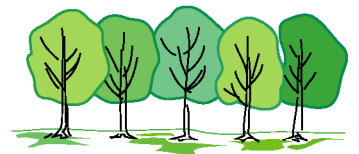
しかし、彼は肉体的な面・精神的な面においても、ガンを克服しようとする意志は衰えなかった。彼自身が心に誓ったのは「自分はガンの犠牲者になるのではなく、“live strong” 強く生きて病がもたらす地獄からの生還者となる」だった。

その後、より積極的に治療を受け、幸運にも恵まれ彼は治療に成功し、ガンを克服したのだった。以後、プロのロードレーサー復帰は不可能といわれた彼だが、リハビリとトレーニングを続け、わずか2年度、1998年にはプロ復帰。翌1999年に、ツール・ド・フランス優勝！！ガンという病気に侵されハンデを負った彼だが、肉体的にずば抜けた素質と、ガンと闘った強い精神力を兼ね備えた事により、7連覇という偉業を達成できたのだろう。

彼の言葉・・・

病気は僕という人間を、屈辱的なまでに真っ裸にし、僕は容赦のない目で自分の人生を振り返ることを余儀なくされた。断言していい・・・

「ガンは僕の人生に起こった最良のことだ」



「自分に起こることはすべて必要、必然である」と
プラス思考が彼を最高状態にした。